

ゆずりは通信

第36号 令和1年7月1日

(年2回発行)

発行：ゆずりはの会事務局

電話：0565-35-7182

Eメール：takekaki@hm8.aitai.ne.jp

ホームページ：

<http://www.hm9.aitai.ne.jp/~warabino/>

ゆずりはの会 平成31年2月定例会

平成31年2月13日(水) 午後7時～ 福祉センター 34会議室 10人が参加

内容

1. Society5.0 (内閣府が作成した5分間の動画) をちょっと見ました。
AIとか、人工知能とか言われているけど、それが自分達の生活にどんな影響を与えるかを、垣間見ることが出来る動画を観た
2. 軽度認知障害(MCI)の日常生活の変化 : 菅沼医師から提供された資料
軽度認知障害になると、暮らしぶりにどんな変化が表れてくるかを知り、徴候を見つける。
予防するため、あるいは進行を遅らせるために、どんな生活をしたら良いか
3. 本の紹介
関心のある人に、回覧されて読んでいます。
「残念な習慣」 「サイレントブレス」 「ファクトフルネス」
4. 守綱寺の活動紹介
冊子「守綱寺報」配布
5. 本の紹介
「みえるとかみえないとか」 ヨシタケシンスケ、伊藤亜紗
「103歳になってわかったこと 人生は一人でも面白い」 篠田桃紅
「えほん七十二候はるなつあきふゆめぐるぐる」 白井明大、くぼあやか
6. コンビニの活動が広がる
ファミリーマート こども食堂
ローソン 介護の相談
7. ボランティア連絡協議会関係の集まり
おしゃべりカフェ、 傾聴カフェ、 哲学カフェ …色々あります
8. まちのリビング kabo
犬飼詩織さんが、頑張って、居場所づくり (特に若者対象)をしています。
9. この会の開催時間
夜は、集まるのが大変なので、昼に変更する。

現在のところ、第 4 水曜日の午後 1 時半～3 時半が有力

ゆずりはの会 3 月定例会

平成 31 年 3 月 13 日(水) 午後 7 時～ 福祉センター 34 会議室 8 人が参加
内容

1. あいちホスピス研究会の定期総会出席

2 月 23 日(土) 名古屋市 東生涯学習センター

総会は 2 部構成で、1 部は普通の総会。

2 部は、シンガーソングライターのリサイタルでした。

出演者は、61 歳の現職の医師で、ギター片手に 10 曲余りを歌い、かつ語りました。なかなか聴かせました。

今年の公開講座は、ウィルあいちで

① 3 月 30 日(土) 徳永進氏 「死は遠くの星」

② 4 月 27 日(土) ホスピス医を迎えて話す会

③ 5 月 25 日(土) 内藤いづみ氏

「 2 人そろえばコミュニティ 学んで、繋がり、自分達で創る人生を生き抜く処方箋」

2. 藤嶋昭:東京理科大学名誉教授の講演会

3 月 9 日(土) トヨタホテルで

酸化チタンが、光触媒の働きをすることを発見した功績で、文化勲章を受けました。

今は、日光東照宮の漆の保護や、マラリヤ感染源である蚊の除去などの研究を進めている。

豊田市の佐切小学校の卒業生であることが縁で、講演会が実現した。

3. 家族が肺炎を患って

家内が風邪をひいて長引いていた。よくよく調べてみると肺炎だった。

長引いていて、今はステロイド剤を使った治療で、小康状態となっている。

患者として、介護者としての苦労を、改めて味わっている。

ちょっとした症状も、甘く見ないで、注意しましょう

4. ゆずりはの会の開催日

会員の都合をきいて、とりあえず、第 3 水曜日午後 1 時 30 分から、福祉センターで行うことにします。

ゆずりはの会 4 月定例会

平成 31 年 4 月 17 日(水) 午後 7 時～ 福祉センター 36 会議室 8 人が参加

1. あいちホスピス研究会 第 1 回公開講座

徳永進氏の講演 「死は遠くの星」

徳永先生は鳥取市で、「野の花診療所」を開いている。①ホスピス診療所と ②在宅ホスピスの両方を行っている。

他の総合病院や、ホスピスが厄介者として、追い出そうとするような患者を引き受けている。先生の信念は、「野の花診療所はがんにかぎらず、死と向き合う人のために開かれた診療所です。できる限りの生の希望の可能性を追うことと、人生を振り返り懐かしむことの、両方を成り立たせたいと思っています。」とのことです。

毎日の診療の中で、色々な人との接触、遭遇した様々な出来事のいくつかを紹介された。死にかかわる仕事をしている医療関係者や、家族など死に係る体験をしている人には、参考になるお話でした。

2. 介護予防に買い物ハビリ

新聞記事の紹介です。

送迎付きで高齢者が、ショッピングセンターで買い物をし、体操や健康状態をチェックする、と言う新しい介護予防事業がおこなわれている。体操だけの教室とか、買い物だけの事業より、参加しやすいようです。広く行われるようになると良いですね

3. ゆずりはの会の事務的なこと

平成 30 年度の会計報告と 31 年度の会員名簿を配布しました。

新しく鈴鹿さんが会に加わりました。

今後の開催予定日は、

5 月 15 日(水)	午後 1 時半～	36 会議室
6 月 19 日(水)	午後 1 時半～	36 会議室
7 月 17 日(水)	午後 1 時半～	33 会議室の予定です

ゆずりはの会 5 月定例会

令和 1 年 5 月 15 日(水) 午後 1 時 30 分～ 福祉センター、 36 会議室 8 名が参加

内容

1. あいちホスピス研究会 第 2 回 公開講座 の概要紹介

「ホスピスの今、今後に向けての思い」：ホスピス医(6名)を迎えて話す会

- ① 愛知県で、ホスピス病棟を担当している医師が、講演者として参加した。

始めにそれぞれのホスピスについて特徴などを紹介した。

どの病院も、体制が整っており、自分が入院することになった時に、安心して過ごせそうな気がした。自分個人としては、普通の地域社会とのつながりが無くなってしまふ、入院は、嫌だなとは思っている。

- ② 後半は、参加者からの質問(講座の前にあらかじめ聞き取ったもの)に対する回答があった。

* モルヒネって副作用はないのか、本当に痛みを和らげられるのか。

* 本当の末期に食べられなくなった時に、点滴をするのは、かえって害があるのか。

* ホスピスでも状態が安定すると退院させられてしまふが、最後まで居ることは

できないのか

などについて、それぞれの先生が自分の意見を話された。

2. 嚥下機能(呑み込む力)が衰えてくると、唾液にもむせてしまうようだ。
喉・舌を鍛えておかないと。
3. 長野県松代を訪れた。大規模な地下壕があった。戦時中に、天皇陛下の住まいとして作られた。
あんなものがあるとは知らなかった。
4. ステロイド剤は良く効くが、副作用もあるので、慎重に処方してもらうことが必要
5. 死ぬ直前には脳から良いホルモンが出る、ので、美しいことや、楽しいことが思い浮かぶらしい

ゆずりはの会 6 月定例会

6 月 19 日(水) 午後 1 時 30 分～ 福祉センター、 31 会議室 10 名が参加

内容

1. 講演「私の好きな風景」 講師:村木厚子

とよた市民 福祉大学 入学式および市民公開講座

福祉センター 2019/6/8 午後 1 時半～3 時半

元厚生労働事務次官の村木厚子氏であるが、郵便不正事件で逮捕され、およそ 5 カ月間 刑務所に拘留された。女性ながら キャリヤ官僚として、仕事をつづけたこと、二人の子供を 育てたなど、意志の強さを感じさせる。

* 講演は二つの部分に分けられていた。

1は、現役で仕事をしていた頃に、色々訪れた現場の中で、印象に残った風景を 5 か所だけ 紹介した。村木さんは、現場が好きで、よく各地に行ったようだった。

地域で活発に活動している人や団体で、彼女の印象に残った出会いが紹介されたが、 各地で、色々な人が活躍されているなどと思った。

* 2は、若草プロジェクトの紹介

役所を退職後の今、力を入れている活動である。瀬戸内寂聴さんや、大谷恭子さん達と協力 している。刑務所での生活の中で、多くの若い女性の受刑者を見たことから、こういう人たち を支える活動を始めた。

彼女の「何か心を動かされる」と、行動につなげる生き方を強く感じた。

2. 話し合い

* 高齢者による自動車事故が多い。

免許証を返上するように、いろいろな方面からプレッシャーがかかってきているが、車を やめてしまった後の生活を思いめぐらすと、大変なことが多い。

* 年金 2,000 万円不足の話は、色々なケースがある、隠さないでしっかり議論してほしい。

* 高齢化に伴い、老々介護の生活が始まってみると、細かいことで色々な障害に行き当たる。

男は、デイサービスに行きたがらない。

買い物を手伝うと、違ったものを買ってきたとクレームがつく。